

健康保険組合、保険薬局向けの講演

講演日：2021年11月10日（水）14:30～15:30

講演会場：豊田産業文化センター（愛知県豊田市）

参加人数：25名

テーマ：社会保障制度の持続性に貢献するために 品質への不安解消に向けた取り組み

講師：田中 俊幸

（日本ジェネリック製薬協会 政策委員会実務委員長兼広報委員会委員長）

概要：レセプト点検等の事業を行う企業が開催する「第12回調剤レセプト直接請求審査・支払薬局と健保の懇談会」にて、愛知県を拠点とするトヨタ関連の6健康保険組合および8保険薬局に対して講演しました。

講演の質疑応答で出た「厳しいご質問と意見」を以下にご紹介させていただきます。

- 安定供給についての「実態、現在の取り組み、今後の見込み」について教えてください。
- 健康保険組合として、加入者（患者）のジェネリックへの理解、受け入れを得やすくする為には何が出来ますか？
- ジェネリックメーカーだけではなく不祥事が続いています。新たな不祥事や回収はまだ出る可能性はありますか？
- 協会として一般向けの活動（安心感アップ、利用促進）は？ 医療機関、保険薬局へはどんな活動をしていますか？
- 医薬品の不足状況を一元管理出来るようにしていただきたいです。各製薬会社のホームページ（HP）を見ないと分からないですし、HPにすら掲載していない会社もあるようです。
- 不正を防ぐには、監視指導体制の強化しかないと思いますが、自主点検など社内のチェック体制は意味がない事は一連の不祥事で明白です。今後、製造管理、品質管理について具体的にどのように取り組む予定でしょうか？